



国際親善総合病院

病院だより

NO. 244
Autumn
2015.10

特集 地域の安心と信頼のための連携活動 ～地域医療連携部リニューアル～

1日人間ドックと脳ドック

新館棟完成



病院のできごと

管理栄養士の シリーズ第6回
メディカルレシピ
冬の準備レシピ

病院の理念

良質な医療の実施
親切な医療の実施
信頼される医療の実施

秋・冬の食中毒（ノロウイルス）に注意しましょう

秋から冬にかけて流行するノロウイルスは非常に感染力が強く、ウイルスに汚染された食品や患者の糞便から感染し、下痢・嘔吐・腹痛を発症します。

【ノロウイルスによる食中毒を防ぐポイント】

- ノロウイルスはアルコールが効かないので手洗いが有効です。食事の前、トイレの後、調理の前後は石けんで良く洗浄し、流水で十分に流しましょう。
- 加熱が可能な食品は中心部までしっかりと加熱しましょう（中心温度85℃ 1分以上）
- 調理器具や食卓・トイレの消毒には次亜塩素酸ナトリウム（ハイター・ブリーチなど）が効果的です。使用法を確認して消毒・清掃しましょう。

HOME PAGE



新館棟完成

新館棟

が完成しました

国際親善総合病院は、平成2年5月に中区（相生町）より当地に移転開院以来、地域の皆さまに愛され発展してきました。この間の医療技術の進歩や施設の老朽化・狭溢化に対

応するため、再整備事業を進めております。

平成26年10月より新館棟の工事に着手し、敷地内南側に本年の9月より緩和ケア病棟を含む「新館棟」が完成し新たなスタートを迎え、更に皆さまのご期待に沿える医療を提供してまいります。



8月20日 竣工式典のようす

1階 エントランス



2階 レストラン



1階 売店



4階 緩和ケア病棟

その人らしい生き方を支援し

地域との連携を活かした

身近な緩和ケア病棟をめざします。



キッチン・ダイニング



個室



家族室（和室）



ラウンジ

がんの患者さんの痛みや不快な症状を緩和し、苦悩や希望に寄り添いながら、その人らしい生き方を支援する病棟です。痛みや苦痛症状を和らげるための治療を積極的に行います。苦痛症状が緩和され、症状が安定しているとき、患者さんやご家族が退院を希望しているときは退院の支援をいたします。



平成27年9月23日
神奈川新聞に掲載されました。

緩和ケア病棟 概要

- 病床数：25床
- 設備：デイルーム・キッチン・ラウンジ・家族室（和・洋室）
- その他：24時間面会可 ペットの面会可

国際親善総合病院

再整備計画は続きます

今後は、既存棟の改修工事に入ります。しばらくの間、院内での移動距離が長くなるなど、患者さんをはじめご利用される方々にはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

地域の中核的病院として更なる向上をめざし、ハードのみならずソフト面も充実させてまいります。

詳細は、ホームページでご覧いただけます。
(URL <https://shinzen.jp/>)

地域の安心と信頼のための連携活動

～地域医療連携部リニューアル～

地域医療連携部 部長 有馬 瑞浩

当院の役割

現在の医療は、一つの病院で入院から自宅退院までを完結するだけではないことが多くなりました。

地域の医療機関それぞれの機能や役割を発揮し、お互いにスチームを組んで質の高い医療を効率的に提供することが多く求められています。また、退院後の生活を支援できるように行



地域医療連携室スタッフ

政機関や福祉・介護施設との連携も欠かすことができません。当院は泉区・戸塚区・瀬谷区・旭区を中心に地域のなかで質の高い急性期医療を行い、患者さんが安心して継続的医療を受けることや生活支援のために医療機関や福祉・介護施設との連携を密にしています。

地域医療連携部の4業務

地域医療連携部は、地域医療連携室と医療福祉相談室が統合構成され、地域との窓口としてサポート活動する部署といえます。メンバーは、医師1名、看護師2名、ソーシャルワーカー4名、事務4名の11名で構成され、業務としては、前方・後方支援業務、退院支援、医療福祉

相談、広報活動などがあります。「前方・後方支援業務」とは、当院での診療・検査予約や紹介・



医療福祉相談室スタッフ

入院患者の受け入れ、他院への紹介やかかりつけ医の相談・近隣の医療機関ご案内、セカンドオピニオンの窓口業務や紹介状の返信管理などがあります。地域から信頼され迅速な対応をす

にしています。

地域住民の皆さんが安心して治療が受けられるように支援することを使命と考え活動しています。

ることで関連機関とのシームレスな関係作りを心がけています。

「退院支援」とは、一人一人の患者さんが自分の病気を受け止めること（受容）から始め、その人らしく暮らすために何が必要かを考え入院前とは何かが変わる暮らしの再構築をサポートすること（自立支援）です。患者さんが安心して退院できる

ようご本人・ご家族の意向を確認しながらチームで活動し、地域連携パスやリハビリテーション病院などへの転院、在宅療養後方支援の導入、地域医療・福祉サービスなどを調整しています。

「医療福祉相談」には4名のソーシャルワーカーが、患者さんやご家族のさまざまなご相談

にに応じております。病气やけがにより急に必要になる医療費、仕事ができない間の生活保障の制度など、経済的な問題、退院後の生活、在宅介護や転院、施

設入所の申し込みなど、入院、外来を問わず、ご心配なことが出てくる方の対応をしています。健康保健や介護保険などの福祉・医療制度の利用や関係機関との連絡・調整をご相談にいられた方の気持ちにできるだけ寄り添いながら援助していくことを心がけています。

「広報活動」とは、病院の広報誌や診療案内、地域医療連携ニュースの発行や医師・看護師主催の医療機関・施設向け勉強会の開催の案内、院外の医療機関訪問活動などがあります。

大切にしていること

「住まい」「医療」「介護」「生活支援」「予防」の地域包括ケアシステムの中での連携を大切

【地域医療連携部の場所が変わりました!】

正面玄関を入って左手に地域医療連携部が移動しました。新しいスタートを迎え、各種のご案内や相談のサービス向上にこれからも努力して参りますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



【地域医療連携の会】

平成27年9月5日(土)地域医療連携の会を開催しました。近隣医療機関の方（76名）にご参加をいただき盛況な交流会でした。



いつまでも健康で過ごすために

1 日人間ドックのご案内

人間ドックコース診断

あなたにぴったりの
コースを見つけましょう!

START

基本プラン

- ・血液検査
- ・尿検査
- ・心電図
- ・眼科系検査
- ・耳鼻科系検査
- ・超音波検査
- ・肺機能検査
- ・婦人科検査
(女性のみ)

胃の検査

- ・異常が見つかった場合
そのまま検査してほしい
→ 胃カメラ
- ・体への負担が少なく料金も
抑えたい
→ 胃レントゲン

胃カメラ

胃レントゲン

肺の検査

- 安価で気軽に受けたい → 胸部レントゲン
- しっかり検査してほしい → 胸部CT(ヘリカル)

胸部レントゲン

胸部CT

肺の検査

- 安価で気軽に受けたい → 胸部レントゲン
- しっかり検査してほしい → 胸部CT(ヘリカル)

胸部レントゲン

胸部CT

A 胃重点コース

基本+胃カメラ+胸部レントゲン
¥64,800

C お手軽コース

基本+胃レントゲン+胸部レントゲン
¥56,160

D 肺重点コース

基本+胃レントゲン+胸部CTコース
¥72,360

B 徹底的に検査コース

基本+胃カメラ+胸部CT
¥81,000

オプション検査

検査内容	料金	検査内容	料金
大腸内視鏡検査※	28,080円	骨密度検査	5,400円
婦人科系検査	5,400円	早期腫瘍マーカー測定: 男性 (胃、肺、大腸、膵臓、前立腺)	24,300円
腫瘍マーカー測定 (大腸、膵臓、前立腺、卵巣)	7,560円	早期腫瘍マーカー測定: 女性 (胃、肺、大腸、膵臓、乳腺、子宮卵巣)	24,300円
乳房触診検査	5,400円	脳梗塞リスクマーカー検査	8,640円
呼吸器喀痰検査	2,916円	血液凝固検査(肺下肢)	2,376円
ピロリ菌検査	2,916円		

※ 大腸内視鏡検査は人間ドックとは別日に行います。

当院で受けるメリット…

1. メタボチェックができる!
医師・管理栄養士がしっかりと指導していきます。
2. 大腸の内視鏡検査が受けられる!
8月よりオプションに新しく追加されました。死亡率の高い大腸癌の検査を精密に行うことが出来ます。

脳血管疾患を未然に防ぐために

脳ドックのご案内

日本脳ドック認定施設



クモ膜下出血、脳梗塞などの病気は早期発見、早期治療により予防できます。また認知症を予防するためにも、脳ドックであなた自身の脳や脳血管の状態を知ることがこれ

からの人生において必要です。当院ではMRIを中心とする副作用のない設備を駆使して、神経専門医の立場からあなたの脳をチェックいたします。

検査内容	諸検査、レントゲン、心電図、脳MRI、脳血管MRI、頸部MRI、認知症の検査
料 金	64,800円 (人間ドック健診日より28日以内に受ける場合 43,200円)

※ 入院せず、2時間以内と短い時間で健診を受けていただけます。

【ご予約・お問い合わせ】 人間ドック・脳ドックは予約制となっております。お電話にてご予約をお取りいたします。

国際親善総合病院 予約センター

TEL: 045-813-0221 (代)

受付時間: 月～金曜日 午後2:00～5:00



Recipe No. 06

作り方

- ① かぼちゃを切って蒸す。
- ② 調味料で挽肉を煮て水溶き片栗粉でとろみをつけ、①にかける。

“冬の準備”レシピ

かぼちゃのそぼろあんかけ

栄養価 (1人前)
エネルギー 132kcal
蛋白質 5.6g
脂質 3.2g
塩分 0.8g

材料 (1人前)

★南瓜=70g ★豚挽肉=15g ★醤油=こさじ1杯
★みりん=小さじ1/2杯 ★砂糖=小さじ1/2杯 ★だし汁=20g
★片栗粉=適量

この時期にかぼちゃと言ったらハロウィンのランタンを想像してしまいがちですが、かぼちゃは魅力的な栄養素が含まれた野菜の1つなのです。

かぼちゃは緑黄色野菜の中でも、カロチンを多く含みます。また、カロチンに加えて肌荒れに効くビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンC、食物繊維も多量に含み、特にビタミンE含有量は野菜の中で最も多く、血行促進、老化防止に効果を発揮します。

カロチン…粘膜の乾燥を防ぎ、細菌感染に対する抵抗力を高める働きをします。

ビタミンE…末梢の血液循環を良くする働きがあります。

肌をきれいにしてくれる効果は、良質なたんぱく質と一緒に食べることによりその効果はぐんとアップし、いきいきとした素肌を保つことができます。

夏の日差しによりダメージを受けた肌をピチピチ肌へ回復と抵抗力アップ、冷え症予防で寒い冬に備えましょう。

管理栄養士
黒岩 舞衣



掲 示 板

予定表	健康懇話会	会場 国際親善総合病院 2階講堂	開催日時	テーマ	講師
			平成27年11月13日(金) 15:00~	2型糖尿病と糖尿病性腎症	腎臓・高血圧内科医長 千葉 恭司
			平成27年12月11日(金) 15:00~	知って得する不整脈の基礎知識	循環器内科 有馬 瑞浩

予定表	院外健康教室	しんせん	開催日時	会場	テーマ	講師
			平成27年10月16日(金) 10:00~	中川地区センター 2階中小会議室	腰部脊柱管狭窄症 ～歩くと痛む間欠跛行が現れる～	整形外科部長 山下 裕
			平成28年1月19日(火) 10:00~	横浜市泉寿荘	脳卒中について ～ならないため、なった時～	副院長 脳神経外科部長 飯田 秀夫 管理栄養士 理学療法士

手作りパン販売

場所/1階小児科外来前 時間/11:00~ 売切れ次第終了

販売場所が変更になりました。

新しい販売場所は 1階小児科外来前 です。

社会福祉法人 開く会

共働舎

毎月
第1木曜日

横浜市泉区中田西1-11-2 TEL: 045-802-9955



10/1
(木)

11/5
(木)

12/3
(木)

特定非営利活動法人

わいわいクラブ Y.O.Y

毎月
第3木曜日

横浜市泉区岡津町2147-4 TEL: 045-811-8989



10/15
(木)

11/19
(木)

12/10
第二(木)

医療安全クイズ

安全な医療のためには、患者さんの医療安全へのご理解とご参加が不可欠です。そこで具体的にどのようにご協力をお願いするのかクイズにしました。問題の答えにふさわしいものを下から選んでください。

Question

Q1 Question 注射や輸血などを行うときの確認の際には、〇〇を言っていただきます。〇〇とは？

Q2 Question 安全な治療を行うためには治療歴や□□の情報を正確にお伝えください。□□とは？

Q3 Question 「おや？」「あれ？」と思ったときは△△。△△とは？

【選択肢】 下の㊦～㊫の中から選んでね！

㊦医薬品名 ㊧名字 ㊨フルネーム(名字と名前) ㊩家族構成 ㊪薬剤や食物のアレルギー歴 ㊫食事の嗜好 ㊬すぐに職員に尋ねる・確認する ㊭大丈夫だろうと判断する ㊮ナースコールを押す

Answer

A1 Answer 患者間違い防止のため、職員は薬剤や輸血を投与する前にフルネームを名乗っていただくようお願いすることが院内のルールになっています。加えて外来では同姓同名の患者さまの危険性もあるため生年月日を言っていただいたり、入院ではリストバンドによる認証も行い、間違い防止対策を行っています。

A2 Answer 安全で適切な治療を行うためには、患者さまから情報を得ることが不可欠です。とくに薬剤や食事のアレルギー情報は重要です。医師、看護師、薬剤師、栄養士などから複数回アレルギー歴があるかお尋ねしますが、いずれも専門の立場から精確な情報を確認するためですので、ご協力をお願いします。

A3 Answer 注射や点滴、輸液を投与しているとき、書類を渡されたとき、診察のときなどなど、「あれ？」「おかしいかも？」と思ったら遠慮なく職員に声をかけてください。またナースコールを押して呼んでください。患者さまの「ちょっと待って」が事故防止につながります。

病院のできごと 7月～9月

春 夏 秋 冬

7月1日(水) 季節を感じるプレゼント

手作り七夕飾り



はなみずき保育園(院内保育園)の園児たちが、笹の葉に折り紙で作った織り姫と彦星、そして願い事を書いた

短冊を飾った七夕飾りを届けに来てくれました。

7月29日(水) 看護師になりたい！

高校生1日看護体験

毎年、夏休みの時期に高校生を対象に「高校生1日看護体験」を実施し、今回は16名が参加。この体験をすることにより看護に対する認識や理解



を深め、将来看護師をめざすきっかけづくりにつながることを目的としています。そんな高校生の皆さんを様々なかたちで応援しています。

8月7日(金) 横浜外国人墓地にて

墓前祭



幕末から明治のころにかけて、当院の前身であるジェネラルホスピタルに勤務した外国人医師たちが横浜外国人墓地に眠っています。

医療のため、遠い異国の地に殉じた先達に思いを馳せ、7名の墓前に慰霊の献花を行いました。

9月1日(火) 大規模地震を想定して

政府広域医療搬送訓練

防災の日に横浜市西部地区の災害拠点病院である独立行政法人国立病院機構 横浜医療センターにて「大規模地震時医療活動訓練」が



実施され、当院からも医師や看護師等が参加。この訓練は、他都道府県等のDMATと連携し広域的な災害時に迅速で的確な医療を提供する体制を整備・充実するために行われています。



日本医療機能評価機構



ECO 活動推進



敷地内全面禁煙

